

## 目指すべき“活動の拠点”と既存施設との違い（一例）

### 自治会館等

地域自治会の人たちが集い・話し合い・協力しあう場所

【違い】主に①、⑤、⑩が不足している。

つながり・・・自治会向け施設であり閉鎖的だが、関連する活動なら活動場所も事務機器も使用できる。

ひろがり・・・地域住民向けの学習機会や担い手育成機会は有るが、インキュベーション機能を有することはあまり無い。

その他・・・地域住民にとって、おおよその機能は備えているが、地域外への情報提供を行う力は乏しい。

### 各地域の公民館など

一定区域内の住民のために、実際生活に即する教育、学術および文化に関する各種の事業を行い、もって住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的とした施設。

【違い】主に①、②、⑤、⑥、⑧、⑩、アウトリーチが不足している。

つながり・・・各種講座・イベントの会場としての認識が強く、くつろぎ空間を提供するための施設となっていない。また、会議室、打合せスペースはあるものの、事務所スペースとしての機能は皆無。

ひろがり・・・学習機会や担い手育成機会を数多く有しているが、運営支援・インキュベーション機能を有することはあまり無い。

多様性・柔軟性・・・市民ニーズを捉えた各種事業を展開しているが、窓口的支援機能や各種連携の促進機能は基本的には備わっていない。

外部への発信力・・・おおよその機能は備えているものの、特に地域外への情報発信については指定管理者の力量に左右される。

アウトリーチ・・・基本的には備わっていない。

### 市民交流プラザ（ルッチプラザ）および生涯学習課

地域に開かれたコミュニティセンターとして機能している施設。

【違い】主に②、⑤、⑩が不足している。

つながり・・・開放的な空間であり、音楽・料理等の活動は行いやすいが、その他分野の活動については必要な設備が少ない。

その他・・・おおよその機能を有しているものの、担当部署が異なるため、市民意見を把握しにくく、最新情報を提供しにくい。